大龍小学校　令和3年度鹿児島学習定着度調査結果（対象：5年生）

大龍小学校における標記の調査の結果及び今後の対策です。
本年度は，新型コロナウイルス感染症の感染拡大により，欠席者が複数いる状況での実施や実施日の一部変更，長期欠席明け直後の実施など，通常での実施ができませんでしたが，今回の結果から見えた課題について，対策を講じ，今後に生かしていきます。

＜実施日及び実施人数＞
5年1組　1月18日（火）：国語・理科24人，1月19日（水）：社会・算数20人（在籍33人）
5年2組　2月　3日（木）：国語・理科30人，2月　4日（木）：社会・算数29人（在籍32人）

本校の各教科の全体通過率（%）

	本校	県	県との差
国語	69.7	72.3	-2.6
社会	76.3	80.0	-3.7
算数	66.1	70.6	-4.5
理科	64.7	73.2	-8.5

「基礎・基本」「思考・表現」ごとの通過率（%）

	基礎・基本	思考・表現
国語	70.8%	67.8%
社会	78.5%	71.9%
算数	69.5%	59.2%
理科	73.0%	53.7%

＜課題とされる領域，項目＞
【国語】漢字，ローマ字，主語・述語・修飾語，目的をもって質問し情報を集めること，文章読解
【社会】日本の領土，日本の気候の特色，農家の工夫，日本の暖流と寒流，自動車生産の工夫
【算数】四則の混じった計算，最小公倍数・最大公約数，立体の垂直な面，ともなって変わる数量関係，文章での表現，異種の2つの量からのグラフの選択，単位量あたりの大きさ
【理科】電池のつなぎ方による電流の大きさと向き，花のつくり，顕微鏡の使い方，実験方法の説明，磁化した釘の極，雲の動きと天気の変化，侵食の説明，太陽の動き，水の姿の変化

〈課題への対策〉
【国語】
・定期的な漢字テストの実施や日頃の日記指導での漢字力・語彙力の向上を図る。
・目的や意図に応じて詳細に文章に書いたり，簡単にまとめたりする。
・事実と感想を区別して書き表す。
・筆者の考えとそれを支える理由や事例の関係性を明確に理解しながら読む。
【社会】
・2つの雨温図を活用し，気候の特徴や気候を生かした産業について考える時間を設定する。
・複数の資料を関連付けて思考する場を設定する。
・日頃から地図を活用し，都道府県の位置を覚える。
・日本地図の気候・地形などから考えられる工業や農業，漁業について予想する学習を行う。
【算数】
・問題場面において，数量やその関係を捉え，図や式に表す。
・算数音読や反復練習を確実に行う。
・課題解決の方法を口頭や文章で説明する。
・生活場面と対応させながら思考する場を設ける。
【理科】
・予想，観察，実験，結果，考察などの一連の活動を重視し，学習の流れをつかませる。
・予想や実験結果を図式化する。
・実物とICT機器の両立により，実験・観察を視覚的に捉え，継続的に記録をする。
・理科音読や反復練習を行う。